

あびらの未来を、みんなで考える。

新しい総合計画づくりが始まっています

「総合計画」は、町の未来のかたちを決める大切な計画です。

現在、平成29年度から始まった第2次総合計画に基づき、令和8年度までの10年間で、さまざまな取り組みが進められています。

この計画は、教育や子育て、人づくりやコミュニティづくり、経済や産業、健康や福祉、生活環境や生活基盤など、安平町に関わるあらゆる分野の「方向性」を示す「まちづくりの設計図」であり、将来の「ありたい姿」を出発点として定め、そこに向かうための道筋が段階的に描かれていきます。

本ページでは、計画に関するお知らせや令和9年度からスタートする「第3次総合計画」の策定へ向けた町の取り組みなどについてお知らせします。

前回のおさらい

前号では、「安平町の人口推移」や昨今移住で来ていただける方が増えている現状と、その背景にある現在の総合計画（第2次総合計画）の特長などについてお伝えしました。

「子育て・教育」に力を入れて多くの方に移住していただくということは、以前から住んでいる方とともに、活力あるまちの新たな「担い手・なり手」となっていただくことを見据えたものです。

今回のおはなし

広報あびら令和7年7月号、8月号の折り込みで「安平町まちづくり町民アンケート」を行いました。ご回答いただいた皆さん、ありがとうございます。今回は、その結果についてお知らせします。



調査の概要

調査目的 町民の皆さんが町の現状に対してどの程度満足されているか、将来のまちづくりに何が重要と考えているか「安平町まちづくり基本条例」の理念に基づきご意見を伺ったものです。

調査方法 広報あびら7月号へ1冊の調査表を折り込みで配布し、返信用封筒を活用した調査表の郵送またはオンラインフォームにより回答をいただきました。

調査項目 性別、年齢、居住地域など基本属性に関する情報のほか、次の項目について質問しました。

- ①安平町が実施する現状の取り組みの満足度と将来における重要度
- ②今後の安平町に求める特色（まちづくり）
- ③「望ましい姿」「目指すべき姿」「進むべき方向性」などの自由記載

回答結果 389件（配布件数の12.5%）

※性別、年齢層、居住地域は母集団（全町民）と概ね同じ分布となっている。